

令和7年度

学校評価者アンケート

ま と め

令和7年度 学校関係者評価委員会 報告書

世田谷区立瀬田中学校 関係者評価委員会

お名前 横須賀 清美

【生徒】

1. 学習について	「学ぶことが楽しい」という質問の範囲が広義で、62%という数値に対する評価がしづらいところもあるが、内発的に勉強に取り組むための支援がさらに必要であるかもしれない。
2. 学習指導について	上記内容と同様「学ぶことが楽しい」という質問が、生徒たちには少し疑問視する文面なのかもしれない。その一方、他の質問に対しては昨年に比べ若干低下の傾向はあるが、ICT 機器を有効に活用している様子が見受けられる。
3. 生活指導について	昨年同様、高い評価を得ている。 生徒たち一人一人が自分で考え、自覚ある行動をしている様子が見え始める。
4. 学校行事(運動会、学習発表会、宿泊行事など)について	高い評価を得ている。学校行事から得られる経験も重要な「学び」であるという気付きが生徒から欲しいと感じた。
5. キャリア教育について	学校としてはキャリア教育に力を入れた取り組みをしている様子が見え始めるが、「キャリア教育」として子どもたちには十分に伝わっていない可能性が考えられる。 しかしながら、3年生は他学年に比べ評価は高く、自分たちの進路に対する関心の高さが見受けられる。
6. 先生について	昨年に引き続き高い評価を得ている。先生方の丁寧な指導が行き届いている様子が見え始める。 その一方、2割強の生徒が否定的な回答をしているところに少し目を向け寄り添う必要性を感じる。
7. 全般について	ほとんどの生徒にとって学校生活が楽しく、規律のある生活に取り組んでいる様子が見え始める。瀬田中学校が目指す生徒像がまさに表れている結果ともいえる。読書の推進については引き続き検討する必要があると思われる。
8. その他	回答項目が減ったことにより、生徒たちは回答しやすかったと思われる。全体的に高評価を得られているので今後も大いに期待したい。

【保護者】

1. 学習指導について	数値は高いとは言えないが、生徒アンケートの項目と同等に肯定的な回答は多くみられる。一方、3割の保護者は否定的な回答であるため、個人差があるようにも感じる。
2. 生活指導について	高い評価が得られている。集団での規律や社会性スキルの学びを学校に期待しているとも推察される。
3. 学校行事（運動会、学習発表会、宿泊行事など）について	90%以上の高い評価が得られていることから、学校行事は子どもたちにとって魅力的であるだけでなく、家庭においてもその良さが伝わる取り組みとなっていることがうかがえる。
4. キャリア教育について	数値は高いとは言えないが、学校としてはキャリア教育に力を入れている様子だったので、その情報伝達の手段について検討する必要があるように思われる。
5. 先生について	教職員による指導の丁寧さについては高評価を得られており、本校の教育活動に対する信頼につながっていると考えられる。相談のしやすさについても概ね肯定的な評価が得られているが、気軽に相談できる環境づくりを進めることで、学校と家庭の連携のさらなる充実が期待される。
6. 全般について	学校教育に対して概ね高い評価が得られている。学校生活や家庭学習など進んで実行している様子が見えうかがえる。
7. 学校からの情報提供について	情報提供に対する認知度がR6年度と比較して向上しており、学校の努力の成果が見受けられる。
8. 家庭と学校の連携について	回答者の8割以上が保護者会や学校公開などに参加しており、積極的に学校と関わりを持とうとしている様子が見えうかがえる。
9. 学校の安全性について	学校における安全教育に対しては概ね肯定的であり、本校の取組が一定の成果を上げていることが確認できる。しかしながら、評価が十分に高いとは言えない状況から、より安心感をもてるよう、継続的な安全点検や危機管理体制の見直し、情報発信の工夫が課題である。
10. その他	生徒同様にR6年度に比べ、回答項目が減ったことにより、保護者にとっても回答しやすいように感じる。全体的にも高評価を得られているので、今後も期待したい。

【地域】

1. 生活指導について	ほとんどの生徒が交通ルールを守って登下校をしている様子が見える。
2. 学校行事（運動会、学習発表会、宿泊行事など）について	学校行事に対する地域からの理解があることが見える。また、実際に学校行事や学校公開に参加している割合が半数以上いることから、回答者は積極的に学校と関わろうとしている方が多いことが推察される。
3. 学校からの情報提供について	高い評価が得られている。「学校行事の案内を連絡している」が100%であることは、案内を見ている、もしくは関心がある方が本アンケートにも回答していることが推察される。
4. 学校運営について	100%という非常に高い評価が得られている。R6年度の課題であった「説明不十分」となっていたところがしっかりと改善された成果が見受けられる。
5. 地域との連携について	100%という非常に高く評価されており、本校の地域連携は大きな強みである。
6. 学校の安全性について	学校施設の安全性について高い評価が得られている。本校が地域の防災拠点としての役割を果たしており、地域からの信頼を得た学校運営がなされていると評価できる。
7. その他	

【まとめ】

本校は教育目標及び重点目標に沿ってバランスよく推進されており、地域と連携した教育活動や教職員の丁寧な指導、行事の充実などにおいていずれも高い成果が見受けられました。

その学校評価の結果を踏まえ、教職員一人一人の感じている課題や工夫点などの声も取り入れ、改善につなげる仕組みの構築を検討するのはいかがでしょうか。

また、安全面や相談体制のさらなる充実、取り組み内容の見える化を進めることで、より安心・信頼される学校づくりにつなげていくことが望まれます。

引き続き、学校・家庭・地域が連携しながら、時代の変化に対応した魅力ある学校づくりを進めていただけたらと思います。

令和8年2月24日

委員長	横須賀	清美	元保護者
委員	岩崎	敬道	東京都市大学 名誉教授
委員	寺岡	英晋	日本体育大学 助教
委員	名川	志信	卒業生 元PTA 会長
委員	上條	直之	元保護者
委員	三沢	里紗	在校生保護者